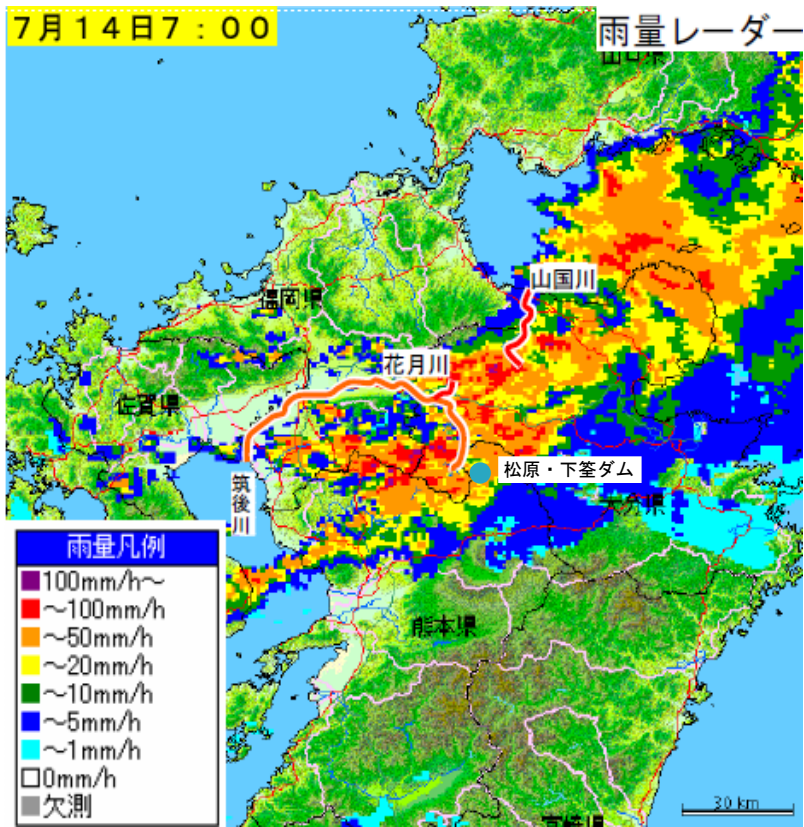


九州北部豪雨にみるダムの働き

平成24年7月3日,7月14日 九州北部豪雨により大きな被害を受けました。

北部九州に強い雨域がかかり、短時間に記録的な雨量となりました。松原・下笠ダム流域でも北部九州同様短時間で強い雨が降りました。花月川等では、水位が上昇し堤防の崩壊などの被害を受けました。

大雨による被害



河川流域雨量 (8月10日本局記者発表資料)

◎松原ダム流域平均雨量

1時間雨量: 56.3mm (7月14日7:00~8:00)
3時間雨量: 94mm (7月14日4:00~7:00)

◎下笠ダム流域平均雨量

1時間雨量: 62.9mm (7月14日7:00~8:00)
3時間雨量: 108mm (7月14日6:00~9:00)

◎花月川 (筑後川水系)

花月川雨量観測所 (大分県日田市)

1時間雨量: 63mm (7月14日6:00~7:00)
3時間雨量: 124mm (7月14日4:00~7:00)



日田市三和地区 (花月川 7/700付近) 浸水状況 (平成24年7月3日 空撮)



日田市西有田 坂本橋下流左岸の護岸崩壊状況 (平成24年7月14日 8:40)



日田市三和 明德橋下流右岸の護岸崩壊状況 (平成24年7月14日 8:10)

| 雨量凡例 |
|----------|
| 100mm/h~ |
| ~100mm/h |
| ~50mm/h |
| ~20mm/h |
| ~10mm/h |
| ~5mm/h |
| ~1mm/h |
| 0mm/h |
| 欠測 |

| 雨量 | 被害 |
|----------------------------|---|
| やや強い雨 1時間に10~20mmの雨 | 地面一面に水たまりができ、足音が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。 |
| 強い雨 1時間に20~30mmの雨 | 土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小川川などは溢れ、また、崖崩れの心配もあります。 |
| 激しい雨 1時間に30~50mmの雨 | バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道中の河川ははん濫し、水害発生の可能性が高まります。避難勧告等が出る場合があります。 |
| 非常に激しい雨 1時間に50~80mm未満の雨 | 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川ははん濫し、水害発生の可能性が高まります。避難勧告等が出る場合があります。 |
| 猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 | 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。車の運転は非常に危険です。避難勧告等が出る場合があります。 |

九州北部豪雨の強さ

●雨の降り方と強さの目安

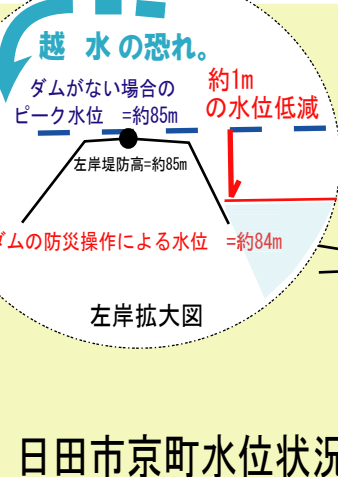
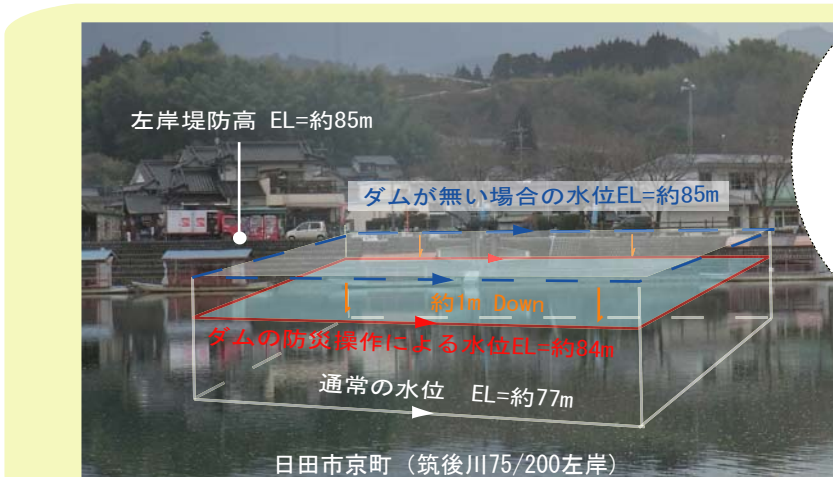
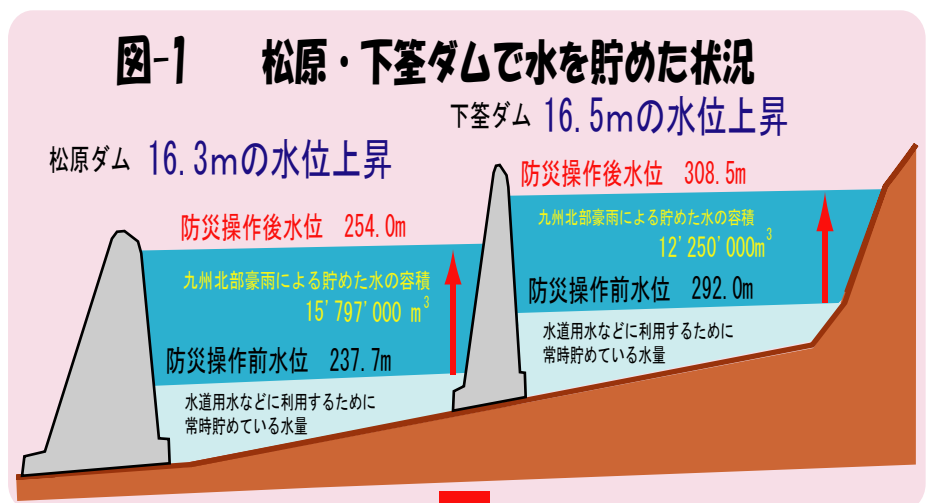
松原・下笠ダムがもたらした効果とは...

兄弟ダム (松原・下笠ダム) の適切な防災操作により九州北部豪雨による被害を軽減しました。川の水位を約1.0m程度も低くし、堤防の決壊や、家屋浸水被害をなくしました。

■防災操作によるダム下流にもたらした効果■



防災操作により、容積にしてヤードーム約16個分の水を貯め (図-1) 河川の水位を下げました。 (図-2)



日田市京町水位状況

図-2 ダム操作により川の水位を下げた効果



※数値データについては速報値